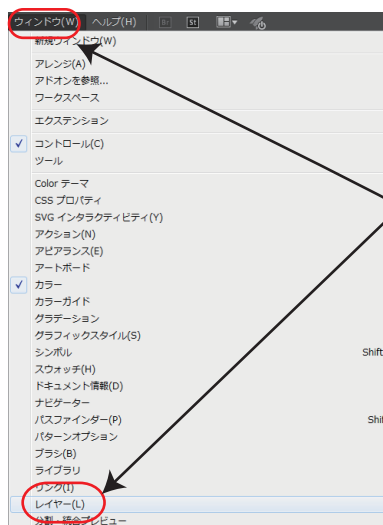


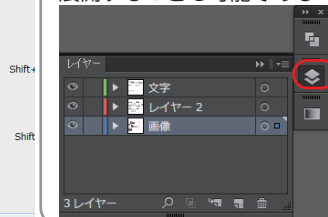
Illustrator で絵型を描く。

レイヤーを使いこなすトレースの効率を上げる



レイヤーパネルが見つからない場合は
ウィンドウメニューの真ん中より
若干下に収納されている

また画面右に設置されたパネルメニューから
展開することも可能である



クリックで
展開される！

レイヤーパネルを使いこなす事により
トレース作業が格段に楽になる。

レイヤーパネルの設定のワケ！

一見面倒な作業に思えるが

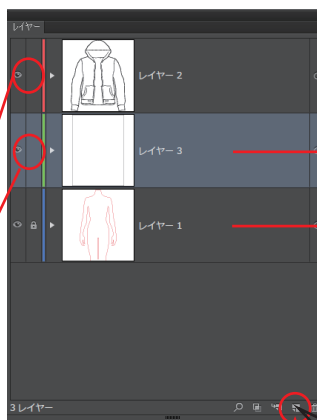
この設定を行わないと描いているうちに
下絵がズれる、また、下絵の色が濃くて
自分の引いている線が上手く確認できない等の
問題が発生する。

下絵のズレや、自分の引いた線が
上手く確認出来るか等の方法は他にもあるが
レイヤーパレットで設定するのが最も簡単で扱いやすい。

レイヤーの具体的な説明

絵型を描くには何か参考になる人体ガイド等があると良い。

因みに本誌付属の CDROM にも人体ガイドは収録してある。



透明レイヤー

人体ガイド

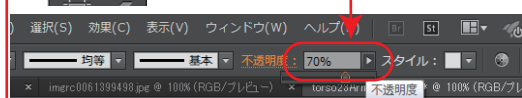
この2つのレイヤーは
下書きを始める前にロックしておく

新規レイヤーはパネルのこの部分を
クリックすることにより作成される。

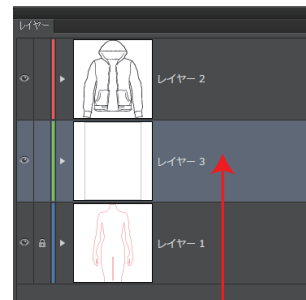


透明レイヤーと言っても
実際にはツールの長方形ツールで
塗を白で四角形描くだけである。

ガイド全体を覆い隠すように
長方形を描く。
そのままだとガイドが全く見えないので
長方形が選択された状態で
メニューバーから不透明度を下げる。

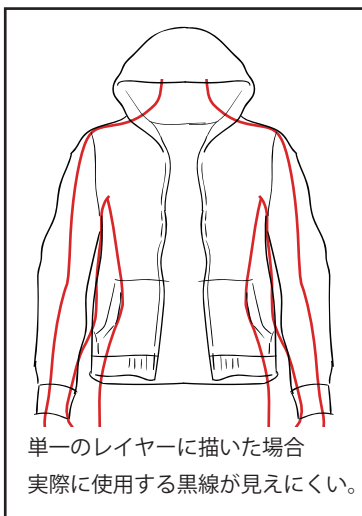


ガイドの線が分かれば良い程度なので
不透明度 70%に変更した。
この数値は自分の見やすい数値に設定すれば良い。



レイヤーの順序は
マウスボタン長押し移動で
入れ替える事が可能

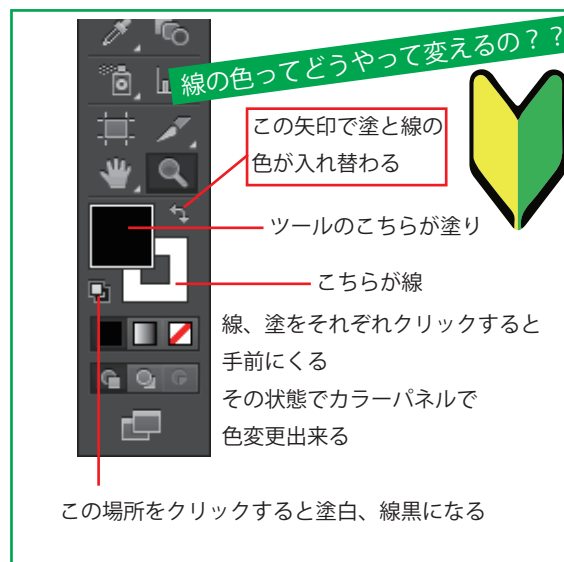
ガイドの上にそのままトレースしてしまうと、
ガイドが動いたり、線も見えにくいのでレイヤーパレットに
新規レイヤーを追加しガイド、透明レイヤー、その上に下絵を描く。



単一のレイヤーに描いた場合
実際に使用する黒線が見えにくい。



レイヤー分けして描いたほうが
自分の引いた線がよく分かる



この様に設定することにより自分の引いた線がハッキリと見えるようになる

またレイヤーの表示マーク (目のマーク) を非表示にする事によりガイドのみ表示、下絵のみ表示と切り替える事も可能だ。